

父親有志が鬼で活躍

たかおかこども園が豆まき

富士市厚原のたかおかこども園(渡邊宏行理事長)は4日、恒例の豆まきを同園で実施した。園児の父親有志で組織するPAPA、S

のメンバーが鬼にふんして登場。0歳児から5歳児まで223人が豆まきやダンスを楽しみ、日本の伝統文化に親しんだ。

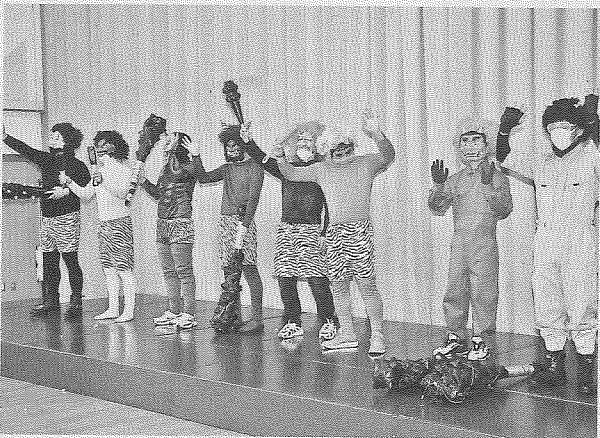
メンバー8人は、1カ月前から準備に取り掛かり、衣装や演出を工夫。さまざまなカラーの全身タイツ、トラ柄のパンツ、作業着

などに身を包み、頭のかつらと角、恐ろしい表情の面などで鬼に変装して現れ、こん棒を持って子供たちを追い掛け回した。

園児たちは「来た」「怖い」などと大騒ぎ。泣いて教諭の陰に隠れる園児がいる一方、勇敢に新聞紙で作った豆



新聞紙の豆で鬼を撃退する園児



父親有志が鬼にふんして活躍

り、みんなで力を合わせて鬼を撃退。すつかり改心した鬼と一緒に『鬼のパンツ』を歌ってダンスを楽しんだ。

豆まき前には教諭が節分の風習を紹介。豆には魔物を滅する意味があり、強く大きく育つ力が込められていること、イワシの頭とヒイラギの葉を飾って魔物を追い払うこと、願いを思い浮かべながら恵方巻を食べると願いがかなうことなどを分かりやすく説明した。

その上で「泣き虫鬼、怠け鬼、怒りん坊鬼、食いしん坊鬼など、自分の中にある鬼も退治しよう」と呼び掛けた。

PAPA、Sメンバーの渡邊大介さんは「豆まきを楽しみながら、節分の意味や文化を学んでもらえればうれしい」と話した。